

パワふる佐賀  
古川やすしの約束  
県民への政策宣言  
マニフェストへの試み  
(概要版)

URL  
<http://www.power-full.com/>

県政は変えなきゃ変わらないと思っています。～古川やすしの県民との「約束」～  
わたしの政策宣言を「マニフェスト」と呼び、これを「県民の皆さまと私との約束」とします。  
4年間での具体的な実行を前提とした政策体系としてとりまとめたものです。  
この政策宣言をもとに変革と創造の佐賀づくりを実行し、その過程や結果はしっかりと県民の皆さまにお知らせすることを約束します。

政治への信頼回復と新しい佐賀づくりに向けた私の決意の証として、ここに発表するものです。  
政治は「変えなきゃ 変わりません」。

5つの基本理念を持っています。～古川やすしの5つのビジョン～

- 1 世界と競い合える「パワふる佐賀」を創ります。
- 2 「オープン・さが」行政主導から県民協働の県づくりに挑戦します。
- 3 女性や生活者の視点を大切に、県民一人ひとりの幸せを追求します。
- 4 「モノ言う・さが」佐賀から地方主権の国づくりをおこないます。
- 5 市町村への権限委譲と資源活用で「地域立県」をめざします。

古川やすしはこんな県政を実現します。～古川やすしの6つの挑戦と49の具体化～

- 1 「オープン さが」「モノ言う さが」を実行します。  
～オープンに議論できる土壌づくりと、佐賀が主役の国への発言～
- 2 まずは「緊急優先課題」に取り組みます。～古川やすしの緊急優先課題～
- 3 「すべての人が輝き、活躍できる県」にします。
- 4 「活力あふれる、パワフルな県」にします。
- 5 「癒しに満ちた、暮らしの先進県」をつくります。
- 6 「人材創出、学びの知的立県」をつくります。

政策推進のための財源確保にがんばります。～古川やすしの「知恵とパワー」で財源確保～  
県が公表している「県財政の中期財政収支見通し」による見通しからさらに4年間で100億円程度の財源を捻出し、新規施策の財源に充てます。

これまで寄せられた質問について古川やすしはこう考えます。～古川やすしのポジション・コメント～

(1) 城原川ダムの建設問題について

「その開発が資本投資に見合うだけの利用価値があるのか」に帰結します。

本当に必要なものなのかどうかを判断するため、事業の一時凍結と、必要性やダム建設に代わる代替案など詳細なデータの開示を国に求めたいと考えます。そして、このダムが本当に必要なのかどうか、有識者による検討会議を設置するなど県民の意見を集約したうえで判断します。

(2) 県立高校の再編問題について

地域のみなさんの意見もしっかりとお聞きしながら、見直すべきところは見直すべきと考えます。

(3) 国営諫早湾干拓事業について

もし仮に、有明海の変化の原因が国営諫早湾干拓事業にあることが明確になれば、その時は佐賀県民の代表として、事業を中止すべきとの意見を国に申し上げます。

(4) 少人数学級の導入について

県民から要望の高い少人数学級を小学校低学年に導入し、その効果を検証したいと考えています。

(5) 佐賀空港の振興について

福岡空港との機能分担を図りながら、一体となって北部九州の航空需要を満たしていくべきです。

(6) これからの公共事業に対する姿勢について

これからは「あれも、これも」ではなく、「あれか、これか」という選択を県民の意見を聞きながら行わなければいけません。

(7) 市町村合併の推進について

各地域における自主的な合併への動きを見守りながらこれを応援します。

(8) 政治とカネの問題について

政治にはサム・マネーは必要だと思います。しかしマッチ・マネーはいりません。普通の市民感覚で納得ができるような政治を透明にやっていきたいと思っています。